



写真コンテストを開催します～楽しさいっぱい、夏のふじやま公園～



今年4年目を迎えたふじやま公園の江戸変化朝顔の栽培、展示にもっと親しんでもらう企画として「第1回ふじやま公園写真コンテスト」を実施します。ぜひ傑作に挑戦してください。

朝が早い朝顔のため、いつもは9時の開園時間を1時間早める日を設定します。その日は専門のスタッフを配置して、朝顔のことや写真の撮り方などを指導する予定です。

9月1日から主屋改修工事にかかり、年末(予定)まで古民家の周囲には足場が組み立てられ、入りが出来なくなるため、主屋の姿をしっかりと記録に残しておこうという狙いもあり、夏の古民家も題材にします。



この他、カブトムシやバッタなど夏の昆虫もいっぱい楽しさ満載のふじやま公園へぜひお出かけ下さい。

<第1回ふじやま公園写真コンテスト>

- 課題は①ふじやま公園の江戸変化朝顔②夏のふじやま公園
- 花の最盛期の8月11日(祝日)には開門を1時間早めて午前8時とします。
- 写真は、メールで適切なサイズにして hongofujiyama@hongofujiyama.jp に送ってください。その際住所、氏名をお忘れなく。1人計4点以内とします。
- 締切 8月31日(金)必着
- 優秀な作品は秋の収穫祭(11月10日予定)で表彰します。



木に虫が湧くのは風通しが良くないからだという。風というのは強すぎるといろいろ被害をもたらすが、適度な風が通ってれば湿度が抑えられ、いやな虫は出ないらしい。ここでいう虫はセミやカブトムシではなく、小さな害虫のことだ。都市公園や街路樹では殺虫剤を散布するところもあるようだが、ふじやま公園は子どもたちがたくさん来るのでそうはいかない。そこで、害虫を減らすべく枝を剪定して風通しを良くしている。実もよくつくし、虫もつかない。伸ばすだけが策ではない。時には切ることも大事なようだ。

◆ わんこソーメン流しをたっぷり楽しみました

今年からハガキでの申込方式となり、待ち時間がグッと短縮されたわんこソーメン流しが7月8日、古民家前庭で行われました。子どもも含めて200人近い人が訪れ、中には70杯以上食べた人もいたなど、おいしいわんこソーメンを堪能しました。ソーメンを食べた後は古民家主屋で開かれた紙芝居を楽しんだり、七夕の短冊に願いを書いたり、夏の1日をたっぷり味わっていました。



古民家 Q&A 茅葺屋根

Q：茅葺屋根の材料は？

A：茅葺屋根の材料は茅、竹、木材、藁縄で、すべて自然物由来です。茅葺の工程は木材・竹を格子状(屋中竹と垂木)に藁縄で組上げ簀の子状の茅葺下地を作る準備工程と、その簀の子の上に軒先から茅を押え竹で垂木の緊縛し棟まで逐次ふきあげ葺地を形成する仕上工程からになります。



茅は屋根を葺くのに用いる草本の総称で、ススキ(薄、芒)、チガヤ、スゲなどが含まれます。一般的にはススキが使用されます。雨が漏らない仕組みは①茅が湿気による膨張し水分が通らない、②葺地の厚さが十分であれば水分が垂直方向より斜めの茅に伝って横へ移動する、③水分の移動を促進する屋根の勾配などです。

古民家の茅葺屋根には、御殿場産の茅を約4千束(1束は両腕で抱える量)使用しています。茅の長さ1.5~1.8m、雨に濡れるのは表面の10cm程度とのこと。竹は直径6、4、3cmで熊本産です。茅葺の流派はいくつかありますが、古民家は雪の少ない地域対象の筑波流です。

《公園内のメンテナンスいろいろ》

梅雨から台風シーズン…と何かと雨の多い季節ですが、大雨に伴う土砂崩れ対策だけでなく、公園内で古くなったことで支障が出ているための措置が進んでいます。例えば炭焼き小屋横の土砂の堆積を取り除いて土留めの擬木を設置したり、日本庭園の笹の繁殖を防ぐネットを更新したり、お願いの看板をリニューアルしたりと、メンテナンスが進んでいます。



★ ホームページの検索が可能になりました

長らくご不便をおかけしていましたが、Google、Yahooとも「本郷ふじやま公園」で検索が出来るようになりました。



ネムノキ (合歓の木)

マメ科の高木で、7月から8月にかけて薄紅色の刷毛のような花を咲かせる。ネムの名は、夜になると眠るように葉を閉じることに由来している。

皇后陛下が作詞したことで有名な「ねむの木の子守歌」は、葉を閉じたように眠っている生家のネムノキの様子が描かれ、50年ほど前に映画女優の吉永小百合がレコード化した。ふじやま公園では長屋門前の水路わきに植えられている。



◇セーフコミュニティ現地審査員視察で来園

栄区のセーフコミュニティ現地審査員視察がインバウンドおもてなしリハーサルを兼ねて、6月15日(金)ふじやま公園の古民家主屋で行われました。オーストラリアと韓国の審査員2名をふじやま公園と栄区文化協会の協力で、小山内いづ美栄区長なども出席して、和服の着付け、お茶席、踊りの鑑賞などでもてなしました。審査員の人たちにとってはいずれも初めての体験に興味をそそられたようでした。



『いろり辺雑記』 から (原文のまま)

- ◆ 和のにおいがしました たたみがとても広がったです
つくえの上にそろばんがありました！ (市内 10代 お仲間と)
- ◆ たけうまが楽しかったです。みんなでできるよう「たけうま」が
もっとあるといいと思います。 (市内 10代 家族で)



平成30年8月度ボランティア活動予定

部会・事項	日程	部会・事項	日程
事務局会議	4日(土)	古民家歴史部会 部会	12日(日)
農芸部会 部会	13日(月)	古文書解読勉強会	5日(日)
作業	月曜日 木曜日	歴史探訪	休みます
里山部会 作業	11日(土) 18日(土) 26日(日)	クリーンアップ	7日(火) 21日(火)
工作棟部会 部会	休みます	広報部会	
子ども工作準備	適時	ふじやまだより編集会議	7日(火)
囲炉裏守 囲炉裏焚き	当分の間 休みます	印刷	12日(日)
		ホームページ制作打合せ	26日(日)

登録ボランティアを募集しています。公園事務所(TEL 045-896-0590)へご連絡ください。

体験教室のお知らせ

手づくりをお楽しみ下さい。お待ちしております。

教室名	日 時	内 容	参加費	応募期限 定員
はじめての 篆刻入門 (全4回)	9月1日(土)、15日(土) 22日(土)、10月6日(土) 各 9時30分～12時	印材に好きな文字を刻り、オリジナルな印を作製しよう	1,500円	8月15日(水) 12名
和布細工 (全3回)	9月3日(月)、10日(月) 27日(木) 各13時～16時	来年の干支の「いのししの親子」を作ります	1,800円	8月20日(月) 12名
粘土工芸	9月13日(木) 13時～15時	バラの花のバレッタ作り	500円	9月1日(土) 10名
押し花絵	9月11日(火) 13時～15時	秋口の風にかわいらしく咲く花達をデザインします	1,500円	9月3日(月) 5名
絵手紙 (全4回)	9月18日(火)、25日(火) 10月9日(火)、16日(火) 各13時～16時	はがき絵の基本を学び実際に画いてみましょう	600円	8月28日(火) 10名
簡単デコパージュ	9月19日(水) 10時～12時	ウエットシート用のふたにペーパーデコをします	600円	9月10日(月) 8名
七宝焼	9月19日(水) 13時～15時	銀箔を使ったチョウチョのブローチを作ります	600円	9月10日(月) 6名
創作人形 (全4回)	9月20日(木)、10月11日(木) 25日(木)、11月8日(木) 各13時～16時	創作人形～パリジェヌI～	2,000円	9月12日(水) 10名
フラワー アレンジメント	9月21日(金) 13時30分～15時30分	多肉植物の寄せ植え	2,000円	9月7日(金) 8名
里山のそば打塾	9月22日(土) 10時～12時30分	手打ちそばの基本を学び、美味しいそばを打ち、試食	900円	9月7日(金) 10名

(1) 応募要領：往復はがきに、教室名、氏名（ふりがな）、郵便番号、住所、電話番号を書いて
応募期限までに本郷ふじやま公園へ

(2) 応募者多数のときは抽選 (3) 持参品：返信はがきで連絡します。

・・・お知らせ・・・

★ いろいろ端むかし話の会

語るもよし聞くもよし、むかし話を楽しみませんか

日 時：8月16日(木) 10時30分～11時30分

場 所：古民家主屋いろいろ端 定 員：15名 当日参加自由 無料

★ 今秋、古民家主屋の補修工事を行います

今年の9月から11月末まで古民家主屋の大幅な補修を行います。工事期間中は主屋の見学はできません。 工作棟での体験教室、長屋門の見学、前庭の一部は利用できます。

団体見学などは予め管理事務所にお問合せ下さい

★ 6月ふじやま公園来園者数 6月度来園者数 959名 30年度累計 5,451名

・開 館 時 間：	9時～17時
・入 館 料：	無 料
・休 館 日：	毎月第1水曜日(8月1日)
・ク リ ー ン ア ッ プ：	毎月第1・3火曜日 10時～11時 (8月7日・21日)

本郷ふじやま公園運営委員会

〒247-0009 栄区鍛冶ヶ谷1-20

TEL：045-896-0590

FAX：045-896-0593